

ゲンジボタル

Luciola cruciate Motschulsky, 1854

- ・体長：♂ 10～18mm、♀ 15～20mm
- ・分布：本州、四国、九州
- ・時期：5月中旬～7月上旬
- ・特徴：日本はもちろん世界でも有名なホタル。

ホタルは普通幼虫は陸生であるが、本種の幼虫は水生である。

また、川辺を強く光る様子は、日本人に古くから愛され、多くの地域で保護されている。

- ・光り方：ゆっくり光る。♂は集団で明滅する。

(豊田ホタルの里ミュージアム 自然ガイドシリーズ No.49 より引用)

ゲンジボタルの一生

ゲンジボタルは、卵から成虫になるまでに約1年かかります。卵で1か月、水中で9か月、上陸して蛹で2か月を過ごし、成虫になって人目に付くのは1～2週間程度という寿命です。

(写真提供：株式会社ヒューマンデザイン生物生態研究所 代表取締役 千葉 豊氏)



ヘイケボタル

L. lateralis Motschulsky, 1860

- ・体長：♂ 9 mm、♀ 12 mm
- ・分布：本州、四国、九州、韓国、ロシア
- ・時期：5月中旬～7月上旬
- ・特徴：ゲンジボタルが河川に生息しているのに対して、本種は、水田やドブなどの流れの緩やかな水域に生息している。
ゲンジボタルに比べると体が小さい。
ゲンジボタルは、触ると臭い匂いを出す、本種はほとんど出さない。
(豊田ホタルの里ミュージアム 自然ガイドシリーズ No.49 より引用)